

令和 5 年度

徳島県立病院年報

第 58 号

徳島県病院局

ま え が き

平成 17 年度に地方公営企業法を全部適用した徳島県病院局では、総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づく公立病院経営強化プランとして、「徳島県病院事業経営強化計画」を令和 5 年 3 月に策定し、新興感染症への対応と通常医療の両立を図りながら、県立病院としての機能・価値を高め、関連病院との連携・機能分担の下、経営の改善・安定化を推進しています。

令和 5 年度におきましては、中央病院南館（E R 棟）の運用を開始し、新興・再興感染症への対応をはじめ、救命救急・災害医療の強化を図るとともに、5 G を活用した遠隔医療の展開による地域医療の充実、また、公立公的病院との包括的な連携体制「徳島医療コンソーシアム推進協議会」の参画医療機関として、各病院間の連携・協働の強化などに努めてまいりました。引き続き、各病院間での相互理解や情報共有を深め、未来を担う人材の育成支援など、さらなる「医療の質の向上」や「地域医療の充実」に取り組んでまいります。

令和 5 年度の経営状況につきましては、入院患者数及び手術件数が増加し、医業収益が増加した一方で、給与費に加え、材料費、経費が増加したことにより費用が収益を上回って増加し、また、新型コロナウイルス感染症の病床確保料が減少したことから、全体として約 25 億円の純損失となりました。

今後の病院事業を取り巻く経営環境は、人口減少や少子高齢化の急速な進行に伴う医療需要の変化、医師の働き方改革に伴う医師不足など、さらに厳しい状況が続くものと懸念されるところですが、患者サービスの「利便性向上」と院内業務の「最適化・効率化」を加速させる医療DXの推進に積極的に取り組むなど、県下の基幹病院あるいは地域の中核病院としての機能を十分に発揮し、なお一層の経営努力を行いながら、「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」との基本理念の下で、良質な医療の確保を図ってまいりたいと考えております。

この度、令和 5 年度における県立病院の業務内容と経営概況を中心として、病院事業の実態を計数的に把握できるように年報として取りまとめましたので、参考資料として、ご利用いただければ幸いです。

令和 6 年 12 月

徳島県病院事業管理者

北 畑 洋

凡 例

- 1 この年報で徳島県立病院とは、徳島県病院事業の設置等に関する条例（昭和 39 年条例第 37 号）により設置された病院をいう。
- 2 この年報の年度区分は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までである。
- 3 病床数は、医療法の規定に基づき、知事の使用許可を受けた病床数である。
年間平均病床数は、毎日の病床数を合計し、これを暦日数で除したものである。
- 4 入院患者延数とは、毎日午後 12 時現在の在院患者数にその日の退院患者数を加え、これを年間合計したものである。
- 5 外来患者延数とは、診療のため来院した患者数を年間合計したものである。
同一患者が 2 科以上の診療を受けた場合、入院患者が他科の診療を受けた場合及び薬品を交付した場合には、それぞれの科の患者数として計上した。
- 6 1 日平均患者数は、入院については暦日数で、外来については実診療日数で除したものである。
- 7 入院患者の病類別区分は、主たる病類の別に結核、精神、感染症に区分し、その他を一般とした。
- 8 診療費負担区分別患者数とは、診療費の支払方法別に区分した患者数である。
- 9 診療科別患者数とは、病院において標榜している診療科で診療を受けた患者の数である。
- 10 診療点数とは、診療報酬点数表、歯科診療報酬点数表により算定した点数である。
- 11 表章記号は次のとおりである。

計数がない場合	0
計数がありえない場合	—
数値が微少の場合	0.0
- 12 以上のほか注記が必要と思われるものについては、それぞれの箇所に記載した。

令和5年度 徳島県立病院年報目次

まえがき
凡 例

第1章 県立病院の概況

1	概 要	3
2	現 況	4
3	機 構	5
(1)	本 局	5
(2)	中央病院	5
(3)	三好病院	6
(4)	海部病院	6
4	職 員	7
5	沿 革	8
(1)	中央病院	8
(2)	三好病院	12
(3)	海部病院	15
6	許可病床数・診療科目の変遷（法適用後）	18

第2章 施設の現況

1	土 地	22
2	建 物	23
3	医療器械器具	24
(1)	令和5年度取得高額医療器械	24
(2)	病院別医療器械	26

第3章 患者の状況

1	入院・外来患者数	38
2	月別1日平均患者数	41
3	病類別入院患者数及び構成比	43
4	病床利用率	44
5	診療費負担区分別患者構成	45
6	診療科別患者構成	46
7	職員1人1日当たり取扱患者数	47
8	救急患者数	48
9	患者統計	49
(1)	令和5年度病床数・病床利用率	49
(2)	令和5年度平均在（通）院日数・外来入院比率	49
(3)	令和5年度月別患者数	50
(4)	令和5年度月別1日平均患者数	51
(5)	令和5年度診療科別延患者数	52
(6)	令和5年度診療科別1日平均延患者数	53
(7)	令和5年度診療費負担種別	54
(8)	令和5年度救急患者数	54
(9)	令和5年度差額室延数・利用患者延数	55
(10)	令和5年度職員1人1日当たり患者数	55

第4章 診療の状況

1	診療給付点数	58
2	診療科別点数構成	59
3	診療科別患者1人1日当たり点数	61
4	手術件数	63
5	分娩件数	64
6	放射線等使用件数	65
7	検査件数	66
8	給食件数	67
9	診療統計	68
(1)	令和5年度診療科別給付点数	68
(2)	令和5年度診療科別患者1人1日当たり給付点数	69
(3)	令和5年度手術件数	69
(4)	令和5年度月別分娩件数	70
(5)	令和5年度放射線等使用件数	70
(6)	令和5年度検査件数	71
(7)	令和5年度食種別給食数	71
(8)	令和5年度院外処方箋発行状況	72
(9)	令和5年度服薬指導実施状況	73
(10)	令和5年度無菌製剤処理加算実施状況	73
(11)	令和5年度後発医薬品導入状況	73
(12)	令和5年度入院時持参薬調査	73

第5章 職員の状況

1	部門別職員数	76
2	職種別職員の平均給与月額	77
3	職種別職員平均年齢	79
4	職員統計	80
(1)	令和5年度末部門別職員数	80
(2)	令和5年度100床当たり部門別職員数	80
(3)	令和5年度職種別職員平均給与月額	80
(4)	令和5年度診療科別1日当たり医師数	81
(5)	令和5年度末職種別職員平均年齢	82

第6章 経理の状況

1	収益及び費用	85
2	資産・負債及び資本	90
3	資本的収支年度別比較	92
4	企業債借入及び償還状況	93
5	主要経営比率	94
6	経理統計	95
(1)	令和5年度収益・要素別費用	95
(2)	令和5年度収益(100)当たり要素別費用	95
(3)	令和5年度患者1人1日当たり収益・要素別費用	95